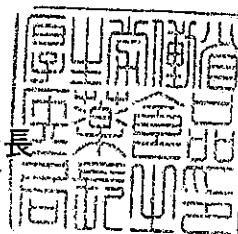


薬食発0704第1号
平成24年7月4日

各 都道府県知事
保健所設置市長
特別区長 殿

厚生労働省医薬食品局長



麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について（通知）

平成24年7月4日政令第183号をもって、麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令（平成2年政令第238号。以下「指定政令」という。）が、別添のとおり一部改正されたので、下記事項について御了知の上、関係各方面に対する周知徹底及び適切な指導方御配慮願いたい。

記

第1 改正要旨

1 改正の概要

次に掲げる物質については、麻薬と同種の有害作用及び麻薬と同種の濫用のおそれが確認されたことから、これらを新たに麻薬として指定するため、指定政令を改正したものである。

- ① 1-ナフタレニル（1-ペンチル-1H-インドール-3-イル）メタノン
- ② (1RS, 3SR)-3-[2-ヒドロキシ-4-(2-メチルノナン-2-イル)フェニル]シクロヘキサン-1-オール
- ③ 2-(メチルアミノ)-1-(4-メチルフェニル)プロパン-1-オン
- ④ 1-(3, 4-メチレンジオキシフェニル)-2-(ピロリジン-1-イル)ペンタン-1-オン

2 改正の内容

次の物質を麻薬に指定したこと。（指定政令第一条関係）

- ① 1-ナフタレニル（1-ペンチル-1H-インドール-3-イル）メタノン及びその塩類

山梨県
衛生薬務課
24.7.10
簡易第号

- ②(1 RS , 3 SR)—3—[2—ヒドロキシ—4—(2—メチルノナン—2—イル)フェニル]シクロヘキサン—1—オール及びその塩類
- ③2—(メチルアミノ)—1—(4—メチルフェニル)プロパン—1—オン及びその塩類
- ④1—(3, 4—メチレンジオキシフェニル)—2—(ピロリジン—1—イル)ペンタゾ—1—オン及びその塩類

3 施行期日

公布の日（平成 24 年 7 月 4 日）から起算して 30 日を経過した日（平成 24 年 8 月 3 日）から施行するものであること。

第 2 改正政令の施行に当たっての留意事項

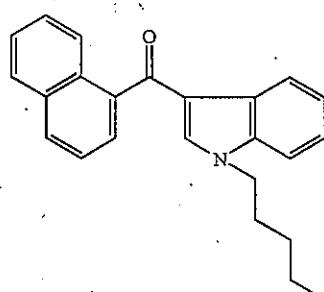
- ① 研究者及びその他の者が業務又は研究のため、今般麻薬に指定される物質（以下「麻薬指定物質」という。）を継続して取り扱う場合には、指定政令の一部を改正する政令の施行日以降、麻薬及び向精神薬取締法（昭和 28 年法律第 14 号。以下「麻向法」という。）による規制を受けることとなることから、当該施行日までにあらかじめ麻薬研究者等の免許取得等必要な手続を行わせるとともに、記録、保管、届出等の規制事項について指導し、管理不備に起因する事故が発生しないよう指導されたいこと。
- ② 既に麻薬研究者等の免許を取得している者が、麻薬指定物質を取り扱う場合についても、①と同様に記録、保管、届出等規制事項について指導し、管理不備に起因する事故が発生しないよう指導されたいこと。
- ③ ①及び②について、麻向法第 49 条等の規定に基づく麻薬研究者等の届出書に記載する期初在庫数量については、施行日（平成 24 年 8 月 3 日）現在の在庫数量を記載するよう指導されたいこと。
- ④ 研究者及びその他の者が所有している麻薬指定物質のうち、今後必要としないものについては、指定政令の一部を改正する政令の施行日前であれば廃棄するよう指導し、施行日以後であれば所有権を放棄するよう指導されたいこと。また、麻薬指定物質を廃棄するときは、焼却等当該物質を回収することが困難となるような方法で行うよう指導されたいこと。なお、施行日以降に発見した場合は、所定の調査を行い、状況に応じた措置をとられたいこと。

第 3 物質の構造式等

① 化学名：1—ナフタレニル（1—ペンチル—1 H —インドール—3—イル）メタノン

通称：JWH—018

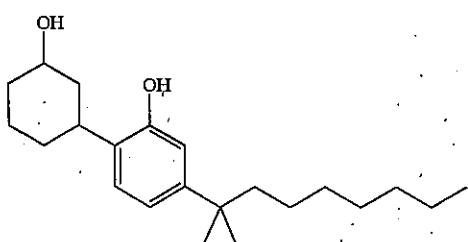
構造：



②化学名：(1*R,S*, 3*S,R*)-3-[2-ヒドロキシ-4-(2-メチルノナ
ン-2-イル)フェニル]シクロヘキサン-1-オール

通称：カンナビシクロヘキサノール

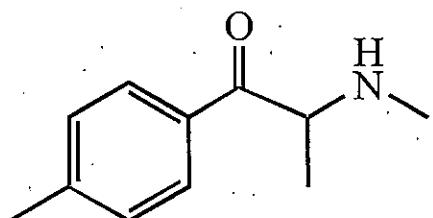
構造：



③化学名：2-(メチルアミノ)-1-(4-メチルフェニル)プロパン-1
-オン

通称：4-メチルメトカチノン、メフェドロン

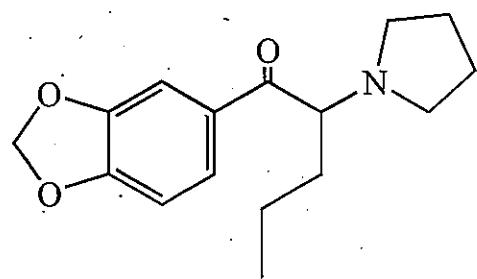
構造：



④化学名：1-(3, 4-メチレンジオキシフェニル)-2-(ピロリジン-1
-イル)ペンタン-1-オン

通称：MDPV

構造：



(関税定率法施行令の一部改正)

第一条 関税定率法施行令(昭和二十九年政令第百五十五号)の一部を次のようつて改正する。

第十六条第一項中「再輸入貨物の免稅」を「無条件免稅」に改め、同項ただし書中「明らかであるとき」の下に「又は当該貨物(同条第十一号の規定により關稅の免除を受けようとする前条第二号に掲げる容器に限る)が特例輸出入者(關稅法第七条の二第一項(申告の特例)の承認及び同法第六十七条の三第一項第一号(輸出申告の特例)の承認の双方の承認を受けた者)をいう。以下同じ。」によつて輸出されたものであつて、当該特例輸出入者の特例申告貨物であるとき」を加え、同条第二項中「たゞし税」を「の減稅、免稅又は戻し税等」に、「内貨原産品」を「課稅原産品等」に改め、「場合の免稅」の下に「又は戻し税等」を加える。

第三十四条に次の二項を加える。

3. 前二項の規定は、法第十七条第一項第二号又は第三十三号に掲げる容器に限る)が特例輸出入者の特例申告貨物であるときは、適用しない。

第三十六条第一項中「加工用貨物の」及び「輸入の目的」を削り、同条第二項を削る。

第三十九条第三項中「(再輸出貨物の輸出の届出)を削り、「前項の」を「第一項の規定による」に改め、「並びに輸出の予定地」を削り、同条第二項を削る。

第三十九条第一項中「(再輸出免稅貨物の輸出の届出)を削り、「前項の」を「第一項の規定による」に改め、「交付がされた日」の下に「(前項の規定により第一項の規定が適用されない場合においては、輸出された同項の貨物(以下この項において「再輸出貨物」という)の輸出の許可の日)」を加え、「当該貨物の輸入地」を「再輸出貨物の輸入地」に改め、「提出するとともに」の下に「前項の規定により第一項の規定が適用されない場合を除き」を加え、同項に次の二項を加える。

ただし、税關長は、再輸出貨物(法第十七条第一項第一号又は第三号の規定により關稅の免除を受けた貨物に限る)が特例輸出入者の特例申告貨物であるときは、次に掲げる事項のうち必要がないと認めるもの(当該届出書への記載を省略させることができる)を「再輸出貨物」に改め、同項第三項中「当該貨物」を「再輸出貨物」に改め、同項を同条第四項として、

同条第一項の次に次の二項を加える。

3. 前二項の規定は、法第十七条第一項第一号又は第三号の規定により關稅の免除を受けた貨物(第三十二条第一号又は第三十三条第一号に掲げる容器に限る)が特例輸出入者の特例申告貨物であるときは、適用しない。

第四十条中「第三十四条 第三十六条第二項」を「第三十四条第一項及び第一項」とし、「第二項」を「第四項本文」に改める。

(輸入品に対する内國消費税の徵収等に関する法律施行令の一部改正)

第三条 輸入品に対する内國消費税の徵収等に関する法律施行令(昭和三十年政令第百号)の一部を次のように改正する。

第十三条第三項に次の二項を加える。

ただし、関税定率法施行令第三十四条第三項の規定により同条第一項の規定が適用されない場合は、この限りでない。

(電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律施行令の一部改正)

第四条 電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律施行令(昭和五十二年政令第一百二十号)の一部を次のように改正する。

第一条第一項第一号ト中「別表第三号」の下に「第六号」を加える。

別表第四号中「同条第七項」の下に「第八項若しくは第十項」を加え、「同条第八項」を「同条第十一項」に、「同条第九項」を「同条第十二項」に改め、同表第六号中「提示」の下に「又は同条第三項たゞし書の規定による報告若しくは許可の申請」を加え、同表第八号中「第十八条第一項たゞし書(入出港の簡易手続)の規定に基づき行われる同法第十五条第一項の規定による報告若しくは同条第一項の規定による書面の提出、同法」を削り、「第十八条第一項」の下に「(入出港の簡易手続)」を加え、「若しくは書面の提出」を削り、「第十五条第七項」を「第十五条第十項」に「同条第八項」を「同条第十一項」に改める。

附則

(施行期日)
1. この政令は、関税定率法等の一部を改正する法律(平成二十四年法律第十九号)次項において「改正法」という。附則第一條第三号に掲げる規定の施行の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 第二条及び第三条の規定 平成二十四年十月一日

二 第一条中関税法施行令第九十一条の次に二条を加える改正規定 平成二十五年一月一日

(関税法の一部改正に伴う経過措置)

改正法第一條の規定による改正後の關稅法(昭和二十九年法律第六十一号)以下この項において「新關稅法」という。第十五条第七項及び第八項の規定は、これらの項に規定する積荷であつて、

この政令の施行の日後に第一条の規定による改正後の關稅法施行令第十二条第七項本文に定める時(同項たゞし書の規定によりその時までに新關稅法第十五条第七項及び第八項の規定による報告を行ふことが困難なものとして財務省令で定める場合には、財務省令で定める時)が到来するものについて適用する。

麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令をこの一部を次のように改正する。

平成二十四年七月四日

御名 御璽

内閣総理大臣 野田 佳彦
財務大臣 安住 淳

政令第八百八十三号

麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令 内閣は、麻薬及び向精神薬取締法(昭和二十八年法律第十四号)別表第一第七十五号の規定に基づき、この政令を制定する。

麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令(平成二年政令第1103号)の一部を次のように改正する。

第一条中第八号を第八十四号とし、第七十五号から第七十九号までを四号ずつ繰り下げ、第七十号を第七十七号とし、同号の次に次の二号を加える。

七十八 (一) (三) 四メチレンジオキシフェニル) (一) (ビロリジン) (一) (イル) ペンタノ

一オノ及びその塩類 第一条中第七十三号を第七十六号とし、第六十一号から第七十一号までを三号ずつ繰り下げ、第六

六十三 (一) (メチルアミノ) (一) (四メチルフェニル) プロパン (一) (オノ) 及びその塩類

四十七 (一) (ナフタレン) (一) (ベンチル) (一) (イソドール) (三) (イル) メタノン及びその塩類

五十 (1-R₂-2-SR) (一) (二ヒドロキシ) (一) (メチルノナン) (二) (トイル) フェニル) シクロヘキサン (一) (オール) 及びその塩類

第一項中第四十七号を第四十八号とし、第四十六号の次に次の二号を加える。

四十七 (一) (ナフタレン) (一) (ベンチル) (一) (イソドール) (三) (イル) メタノン及びその塩類

附則 この政令は、公布の日から起算して三十日を経過した日から施行する。

厚生労働大臣 小曾山洋子
内閣総理大臣 野田 佳彦